

平成 28 年度 第 4 回 堺市堺区区民評議会 会議録

開催日時	平成28年 9 月30日（金） 午前10時30分から午後0時
開催場所	堺市役所 本館 10 階 第 1 会議室
出席議員	上村議員、裏山議員、大毛議員、成山議員、西村議員、湊上議員
出席委員	岩田会長、桂委員、川上委員、佐野委員、信田委員、間宮委員、 矢本委員、湯川委員
事務局職員	堺区役所 射手矢区長、泉森副区長、小尾堺保健福祉総合センター所長 (企画総務課) 三好課長補佐、上野係長、藪主査
傍聴者	1 名
議 題	1 開会 2 議事 （1）中間報告骨子案について （2）その他 3 閉会
資 料	会議次第、名簿 資料 1 中間報告骨子（案） 参考資料 1 平成 28 年度第 1 回堺市堺区区民評議会主な意見 参考資料 2 平成 28 年度第 2 回堺市堺区区民評議会主な意見 参考資料 3 平成 28 年度第 3 回堺市堺区区民評議会主な意見 参考資料 4 諮問書

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
岩田会長	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 中間報告骨子案について</p> <p>おはようございます。議員の皆様におかれましては、本日はお忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今から意見交換を始めさせていただきます。会長の岩田と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本年度は市長から評議会に対して、町家の保全・活用のあり方についてという諮問を受けております。そこで、本日は区民評議会における審議をより深めるために、諮問内容に関する堺区の課題認識や取組の方向性などについて議員の皆様と意見交換をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>いただいた意見につきましては、今後予定されています中間報告及び最終答申に向けての議論の参考とさせていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>早速ではございますが、意見交換に移りたいと思ひますが、まずは意見交換に際しまして、これまでの議論の経過を簡単にご説明させていただきます。</p> <p>本年度は、今まで区民評議会を3回実施し、諮問事項について議論を深めてきたところですが、議論を行い方向性を整理したものがお手元の資料1になります。</p> <p>これまでの経過ですが、堺区は歴史的・文化的資源が豊富であり、町家はその一端を担っていると考へております。しかし、町家は近年老朽化が進み、取り壊されるという状況も見られますので、評議会では市からの諮問事項を受け、町家の保全・活用のあり方について、3回にわたって審議を行ってきたという経緯です。</p> <p>町家の保全を進めつつも、活用を一層進めるためにも、周囲の環境整備、女性や若者などの視点での区民の一層のホスピタリティの向上も必要との課題認識の下、審議を進めてまいりました。</p> <p>検討の視点としまして、町家活用も視野に入れた今後の取り組みの</p>

淵上議員	<p>あり方、住民意識の向上、多くの人を呼び込むために必要な周辺地域での仕掛けづくり、町家の借り手と貸し手をつなぐマッチングを行うような仕組みづくりや、町家の情報を集約提供する施設、町家の多い地域への集客、町家だけでなく大道筋を含めた周辺地域の整備などが必要との視点が示されています。</p> <p>こういった内容で議論を深めてきたところです。また、地域の人に取り組んでいることを応援する仕組みづくりも必要ではないかとの意見もございました。それらの意見を踏まえまして、問題解決に向けた方向性を三つに整理しました。</p> <p>町家の保全・活用として、民間主体による町家の活用に向けた仕組みを構築、歴史的価値のある町家の保全、町家のよさを知るきっかけづくりなどが必要であるというふうにしています。</p> <p>町家の保全・活用と合わせて取り組むべき周辺環境の整備としまして、大道筋を魅力ある空間にする取り組みを継続して実施すること、女性や若者、外国人、観光客など、来訪者が快適に過ごせる空間の整備や情報発信の強化、大道筋において、区民、事業者、企業、活動団体などが集まり、まちづくりを進める場づくりの推進が必要であること。</p> <p>そして、まちづくりに関する区民意識の向上としまして、地域の歴史的・文化的資産に対する理解を高めることで、シビックプライドを醸成をすることが必要であることなど、方向性をお示しました。</p> <p>最後に、アイデアレベルではございますが、これらの方向性を受けた取り組み案をここに整理させていただいております。</p> <p>本日はこれらの方向性や取り組み例につきまして、ご意見をいただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、今資料の内容を中心にご意見をいただきたいと考えております。議員の皆様から地域の実情や課題を踏まえ、こういう観点が必要ではないかとか、区民ニーズとしてはこのようなことが求められているのではないかなど、ご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>議員の方お一人からご意見を頂戴したいと思っています。短いかと思いますが、2分ないし3分程度、これを目標とさせていただきます、ご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>市議会議員の淵上です。どうぞよろしくお願いいたします。 堺区であまたテーマがある中で、この町家のことが中心課題として</p>
------	--

<p>岩田会長</p>	<p>取り上げていただいていることは、環濠都市北部地区で生まれ育った者として、非常にうれしく思いますし、私も議員としてかなり問題意識をもっている課題でありました。</p> <p>私自身、これを拝見いたしまして、本当に大事なことだと思います。特に重要なのが、住民の意識のさらなる向上だと思いますし、その中で非常に私が共感したご意見として、点在していても、なかなか効果が望めないというご意見がありまして、ある程度固めないと魅力につながらない、狭い範囲でもいいので町家が並んでいるところが必要というご意見が、委員からあったようです。私は本当にそのとおりで思っていて、北部地区に住んでいる人間というのは意外と身近なところから町家が点在しているのを見ていますから、逆に価値が気づいていないケースが多くて、金沢の東茶屋町なんかが典型だと思うのですが、狭くてもいいから角から角まで町家があるということがこの町家のすばらしさを実感する、本当にいいことだと思っています。</p> <p>その中で、私たち拝見しまして、活用・保全もすごく大事なんですが、再生という切り口が必要だと思っています。それは皆様方というより、どちらかという予算に関与できる我々側のミッションだと思っているんですけども、そうした中で堺市では、まちなみ修景補助制度というのがあって、重点地域であれば町家ふうに改修すると補助が出るという制度があります。</p> <p>しかし、残念ながら年間の予算は三、四百万円くらいなんです。年間で昨年度1件、今年度4件ぐらいの申請があるようなんですが、重点路線に指定されているところだけでも、町家ふうでない家がざっと200件から300件ぐらいあるので、100年ぐらいかかるのかという話になりますから、私はもうちょっと絞って予算をふやしてこの角からこの角をやりたいなという意識をもって、こういうのを取り組めば必然的に住んでいる人も、「ここ角から角まで町家でええ感じやな、うちのところもやってみたいな」という、そういう住民意識の向上にも必ずつながると思うので、私どもは議会でそういう発信をしたいなと思っています。</p> <p>再生という切り口をもうちょっと深めたいなと。感想ですが、私は思っているところです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>そういった再生という話も、本当に活用・保全の中に内容としては含んでいるのかもしれないけれども、今おっしゃっていただきました</p>
-------------	---

<p>大毛議員</p>	<p>取り組みの仕方というものに、着目しながらこれからもう少しこちらのほうでも議論を深めさせていただきたいと思っております。</p> <p>ありがとうございます。他の方はいかがでございましょうか。</p> <p>大毛議員、どうぞ。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>僕は、この前の決算総括を担当させていただきました。ソレイユとして町家再生事業について、質問をさせていただきました。440万円ほどが一応再生事業の予算なんです。</p> <p>個人の持ち物がある程度改造したり、あるいはある程度負担をしたりしてもらうというような形で、国に事業に乗って今やっているんです。国が3分の1、そして市が3分の1、個人が3分の1という枠で、予算が使われているわけです。</p> <p>だから、何千万円かかった、それから「あんたのところ、3分の1出してね」といって、本当に所有者が必要と思って協力してくれるかどうか、そこは国の事業ですけれども、堺市としたら限りなく個人負担を少なくするというような取り組みをしてくださという提案をしました。</p> <p>それで、今390万円ほどが今年使われている分ですけれども、ひとつのマンションなり、ひとつの個人の家をリフォームしようと思ったかって、やはり四、五百万円かかる。それなのに大きな町家を修正していこうと思ったら、もっともっと予算が要るんじゃないですか。</p> <p>今言われたように、100年かけて徐々に変わって行って、100年後にはよくなった。それが本当にやっているということにつながるんですか。</p> <p>市長さんが、一遍4,000万円ぐらいかけて、10倍ぐらい上げてまちなみとして町家再生事業をやるんだったらしっかりやりましょうよというような提案をしておきました。</p> <p>そういうことで、やはり個人負担というものが発生する、その必要性にかられて、必要だという人に賛同を求めるのは簡単ですけれども、「住んでいるだけで、私は関係ないよ、なんで私が3分の1を負担して市のためにやらなければならないの」というようなことになってしまうと、とまってしまう。</p> <p>ですから、そういうことじゃなくて、ゾーンとしてしっかりとやっていこうと思ったら、予算も所持してやっていきたいと思います。そのぐらいの気持ちでなかったら、京都でやっている、兵庫でやっている、</p>
-------------	--

	<p>福岡でやっている、全部同じ条件で国の事業でやっている。堺市は、何を頑張っているんですか。国がやっているからやっているだけであって、堺市がしっかり頑張って観光の観点からそういうことをやるのであったら、しっかりと予算措置をしてやっていきたいと思いますという提案はさせてもらいましたけどね。</p> <p>そういうことで、具体的な提案を今後してほしいなと思います。よろしくをお願いします。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>ちょっと、私たちのほうでは予算のことはなかなか理解もできにくいところですし、手もつけられないので、ぜひその議員の皆さまにご協力というかお願いしたいところがありますので、ご意見ありがとうございます。他にございませんでしょうか。</p>
	<p>上村議員、どうぞ。</p> <p>上村です。町家・古民家というのは、非常にポテンシャルはあるんですけども、意外と持っている方というのはなかなか高齢であったり、再生したりできていないというのが現状で、何も生かしていないということだと思っんです。</p> <p>そのためには、町家・古民家を本当に必要としているところ、それを生かせる人に、本当にマッチングというのは仕組みとしては必要なことだと思います。お金を持っている人、これを事業として成り立たせることができる人を連れてきて、所有者さんと事業者さんが本当にウィンウィンの関係で再生できるような仕組みをつくる。これがまず大切だと思います。</p> <p>これは官・民両方が一緒になって手を取り合ってやることだと思います。そして、この古民家というのはひとつだけでも、今日は用事でお越しになられなかった谷本さんのところとか、キーテナントとか、今できつつある状況の中、これを一層進めていくことが、今ならばもう一度再生の復活ののろしを上げたところだと思います。</p> <p>それに必要なのは、行政としてはお金だけではなくて、行政ができることって、規制の緩和だと思うので、そういった部分、例えばメインが大道筋になっていますので、大道筋には道路の幅を生かした何か、例えば、駐車場がないとか、さまざまありますので、そういったことも緩和していくことが必要であり、行政ができることはそういうことだと思いますので、そういうことの行政としてまずはお金をかけずともできることをやっていくべきだと思います。</p>

	<p>それと、行政としては、大道筋のまだまだ暗い、何となく暗い雰囲気、夜もまだまだ、端から端までは余り明るいとは言いがたいので、そういった環境づくりというのも必要だと私は思っております。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>ありがとうございます。確かに人が来るときに、今、駐車場がないとなかなか人は集まりませんし、いろいろ高齢社会の問題とかお聞かせいただきまして、もう一度その点についても考えてみたいと思います。ありがとうございました。他にご意見がございますか。</p>
<p>成山議員</p>	<p>大道筋のよさを知っている方というのはなかなかなくて、地元の人であったり、議員であったりしても。</p> <p>堺の道と銘打ったときに堺の道はここですよ。大阪市だったら御堂筋がある。堺には大道筋という、紀州街道と竹内街道が直角にぶつかって、真ん中にレトロなちんちん電車が走っていて、その周りには文化財があふれるほどあって、昔からある和菓子屋さんもあって、こういうまちがあるのに、どうしてここをもっともっと堺市は発信してこなかったのかという旨を、この間、総括でも言わせてもらいました。それは、灯台もと暗しで、そのよさがわかっていなかったのかなと思います。</p> <p>私らも高山に行ったり、松山に行ったり、長崎も行って、いろんなまちへ行って、もう一度行きたいなと思うまちはどういうまちかとか、いうのを振り返ったときには、町家が古いからあそこの山口家でよかったねという形で、もう一回山口家へ行きたいと。それはありますよ。山口家へ行ったあの風情とか雰囲気とかそういうまち全体が醸し出す段階で、ああもう一回行ってみたいな。例えば、長崎ならば坂があって、港があって、雨でも降っていたら長崎は今日も雨だったとかいう歌が出てくるとか、いろいろあります。</p> <p>私はやっぱりもっともっと大道筋のよさを発信していく、それは市当局のシティプロモーションが、もっと全力を挙げてやらないとあかんと違いますかということです。</p> <p>だから、堺の大道筋がこれからの中心市街地の起爆剤となると言われてもらっているんです。他市にない特色は何かということも、もっともっとインパクトのあるもので言わないと、なかなか発信できないだろうなと思うんです。</p> <p>でも、あの幅と、ちんちん電車と文化財とどう売り出していくかですけれども、戦略ですけれども、私の提案として、これは個人的な考</p>

	<p>えですけれども、大道筋に桜の木がずっと南北植わっていて、桜の満開のときはちんちん電車で見てくださいよという形はどうかと。その風景を真上からでも横からでもいいですけれども。</p> <p>大道筋の横には与謝野晶子の生家がある、千利休がある、そういう形の道というのを、もっともっとアピールしたらどうかと、個人的には思っていますので。</p> <p>それには市議会議員の発想と、地元の方々の発想と、そして有識者の発想、それから旅行会社の発想、いろんな人の意見を聞きながら、これだというものを見つけて、やっていけばどうかと思いますので。またよろしくをお願いします。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>ありがとうございます。大道筋というのは、去年から私たちが非常に着目しているところです。町家もそうなんですけれども、なかなかそこにいる人って自分のところのよさが見えていないことが本当に多いですので、大道筋というのをもっと活用できるチャンスがちょっと俯瞰すればあるのにとすることは、去年から議論をいろいろしてきているところです。とても後押ししていただいたような気がします。ありがとうございます。他にご意見ございませんか。</p>
<p>裏山議員</p>	<p>私は、これを事前に読ませていただいたときに、大道筋というのは前々から評議会におかれましても着目をされて、活用していこうという話が出ておられたようなことでありますけれども、私はその点は非常に大事だなというふうに思っております。</p> <p>それと合わせて、大道筋にいろんなイベントがあったときに来られる方、そこの周りに住んでいる方、普通の住宅街とかがたくさん広がっておりますし、オフィスもありますし、そういったところの方々が、大道筋でこういうふうに活気をつくっていくということを合わせて、住んでいる人にとっても周辺環境がよくなっていくということが私は大事だなというふうに思っています。</p> <p>それはもちろん市当局がしっかりと努力をしなければいけないんですが、その視点がどうしても来訪者の方をいかに集客するかということだけに今、市当局は視点が置かれているような気がしております、住んでいる方々がそのことによって何か、いわゆる利便性とか住環境等が向上するということに対しては、ちょっと今、非常に意識が低いのかなという気がしております。</p> <p>これは我々の役目でございまして、しっかりとその点は訴えていか</p>

	<p>なければいけませんし、また、それを後押ししていただけるような、こういう大道筋のにぎわいづくりを提言していただくというのは非常にありがたいと思っています。</p> <p>したがって、住んでいる方にとって、周辺環境がよくなっていくということが、町家を保全したり、家を活用したりする事業の中において、直接自分は町家の保存をしたり活用したりはしていないけれども、みずからのまちがよくなっていくということがわかれば、反対にそういう意識も向上して、そういう町家の保全・活用にも、もっともっといろんな人たちが集まっていただけるのではないかなど、このように今思っております。</p> <p>これは双方やっていかないといけないし、その後押しを我々がやっていかないと役割がいっぱいあるなというふうに中間報告を見せていただいて、感じたところがございますので、頑張っていたきたいなというふうに思っております。</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。住民の方がよくなるような方向というのは確かに、私たちも深く思っているつもりなのですが、なかなか今は後回しになっているのかなという面もあるかもしれませんので、注意を入れていきたいと思えます。ありがとうございます。</p>
西村議員	<p>前回もこの区民評議会でお話をさせていただきましたが、区民評議会でも方向性を決めたら、思い切って行政に対してどんな圧力でも構わんから、通してもらわんことにはいけないと。語り合うだけじゃ駄目ではないか。</p> <p>我々も当然それに対して応援はしますというお話をさせていただいたと思うんですけども、この区民評議会というのは、現市長がそういう組織をつくらうと言ってつくられたけども、それはそれで皆さんからいろんな資料を見せていただいて、会議の中身はおかしいとは思っておりません。</p> <p>それをどう進めてくかということで、今、議員も言われたように、町家の話もたくさん出て、これは事実で、全国の市町村でも利用して幅広くやっている。しかし、ひとつだけであれば、なかなかそれを見に来るとか、楽しむとかいうことはないと思えます。</p> <p>今、大毛議員も言われたように、一つや二つで300万円や400万円のお金をどうしたって、全部にしても仮に20件やったら20件、50件やったら50件の金額が大きくなるんだけど、思い切ったことをやらん</p>

限りは、中途半端なことをやったってできない。

議論を当局のほうから、あるいは市のトップのほうからそういうことを言われても、実際に、皆さんが考えて、これだったらできるんだと。それには相当年数かかってもやりきる。我々ももちろん当然ですけどね、力を入れるんです。

そういうことをやらん限りはなかなか進んでいかないな。今、その中で何点かちょっと私も思うんやけど、地域の資源という言葉がここにも出てきています。資源とはそもそも何やと。

ここに書かれておるんですよ。神社や仏閣とか云々とかいう。だけど、外国も含めて堺以外の人が堺の資源を見に来る、体験すると言うたときの資源というのは、その辺に重点を置くのか、どこまで置くのかということをお私はある程度考えないといけないと思っている。これは神社、仏閣、フィギュアやからとかいうんじゃなくして、そういうことも再度考えないと。どこまでをこの評議会でも資源と考えるのか、必要ではないかと思います。

それと、観光ですけれども、今、関西では平成27年度で約800万人が大阪、神戸、京都、奈良を中心にそれぐらいの人が来てくれているんですけども、実際、堺でどれだけの外国人観光客が入ってくるか。入ってこない、現実には。

現実には、関空に飛行機が飛んできて、ホテルはかなり稼働率が高い。だけど明るる日になったらバスでしゅっと走ってしまう。それは何かといたら、これは単純な話で、外国人観光客が堺を見て回るものが何もないと。

一定の限られた1週間とか、大体1週間前後だと思いますけれども、関西だけを見るとなったとき、そこで1日でも堺に来てくれるかというたら、その貴重な1週間のうちの1日に堺には行ってない。僕は以前に、なかったらつくったらいいじゃないかと。そして、なかったら目玉をつくって、そしてそこに来てもらった中で周辺のいわゆる堺の寺院、仏閣とかいろんな資源を見てもらう、それでなかったら余りにも小さいから、国内でも海外からでも堺を見にいこう、勉強しに行こう、あるいは楽しみにいこうということは、誰も出てこない。

大体、皆さん旅行に行くときには、何があるからそこに行こう、あるいは何々のまちが浮かんだときに、これがあるとかいうので行かれる方が非常に多い。ましてや海外からの場合は、貴重な時間ですからね。

そういう意味で、僕は20年間、世界一の観覧車、250メートルの観

覧車をつくって、仁徳さんに行ったら、上は鳥しか見えないから、あかんのやったら上から見たらいいやないか。あるいはこの土居川にイルカを50頭、100頭泳がせて走ります。事実、私はそういう考えをしていますけれども、いわゆる目玉をつくらんことには、観光というのは最低1日はそのまちで歩いてもらえることでなかったら、なかなかこのまちの観光というのは非常に難しいなど。

それと、行政ももっと力を入れてほしいなど。連続なまちなみに対しての資金もそういうこともやけど。今、全国で大型クルーザーの話がよく出ていますね。今、北九州で100万ぐらいがクルーザーおりにいるんですか、あるいは境港なんかでも3,000人、4,000人のクルーザーが入っているんです。

堺には入ってきていないですね。それはそういう設備もまだ管理されていないことがある。だけど、それで堺浜に防災拠点というのをつくっておりますよね。これは、東南海地震の絡みの、そのときの大阪の拠点、防災の拠点ということで、へりとかそういうこと。

今、その岸壁工事がマイナス10メートル岸壁250メートルぐらいですか、そしてあとマイナス12メートル岸壁、超大型のクルーザー船といたら、10メートルから12メートルぐらいは要るんですね。

今、東南海地震は30年か50年で、70、80%の確立でくると言われているけれども、ふだんは何も使われていない。使わないということ。

今現在、そういうクルーザーの話も出ていますけれども、クルーザーの話はちょっと横に置いておいて、例えばあと300メートルほどマイナス12メートル計画の岸壁が事実、計画されておるわけです。

マイナス10メートル岸壁が250メートルでつくったんですね。あとのマイナス12メートルが、ここ3、4年工事がとまってしまっ。

これは、国と大阪府の補助でやるんですけれども、これはいわゆる危機管理の問題なんですけれども。では、そこにこの岸壁でもマイナス12メートルが完成すれば、そこに岸壁の後ろに、車も恐らくバスやったら50、60台ぐらいとまるエリアがもうできておるわけです。

ただ、岸壁だけないだけ。この間も自民党も国会議員も、とりあえずは観光クルーズが目的であっても、防災拠点の金を何でとめるんやと。来年でも予算がついたらできるよと。いうことで、もしマイナス12メートル岸壁ができたなら、約500メートル余りの岸壁ができる。そうしたら、3,000人、4,000人のクルーザーでも入ってこれる。

そういう行政ができることでも延び延びになっているというので、本当にこれは堺市だけの問題じゃない、今のは大阪府の問題でもある

	<p>んですけれども、どこまで本気にやっているのかなど。</p> <p>ただ大阪市なんかは、今言いましたように 800 万人の関西に入ってくる観光客の中で、1 回ぐらいは必ず大阪へ。1 回か、1 日か 2 日は必ず大阪市に入ってくれておるわけやね。それはそれで、放つといたってと言ったらおかしいけれども、観光客が大阪市は動いてくれる。ただ、堺市には簡単に言うたら目玉がない。例えばいい温泉があるから、1 回体をあれして温泉に行こうかという温泉はない、そういうものもない。では、神社、仏閣も国宝になるような神社、仏閣もない。あるいは新しく今の子どもたちが自由に楽しめるのかという、そういうものもない。人がなかなか集まりにくいですね。</p> <p>私は 20 年近く前に、ここで日本一の祭りをしようとして、地域の資産であるだんじりが、大体 120 台堺市にあるんですよ。そして、ふとん太鼓は約 40 台、子ども太鼓を入れたら 42 台ほどですけれども、40 台ある。その 120 台を一同に集めて大小路筋でイベントをやるということで、事実十数年前から堺市全域のだんじりや、ふとん太鼓の役員さんを集めて 95% ぐらいまで、みんなが行っていたけれども、最終的には、市とかあるいは警察絡みとか、そういうところで結局されてしまうこともある。</p> <p>だから、評議会から事業で 100 億円用意してほしいとか言うてほしいんです。我々もそういうふうになってほしいと思います。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>テーマとしまして資源とは何かということで、まだまだ活用できそうなものは確かにありそうなのかなと思いますけれども。</p> <p>今、一通り議員の皆さんにはお話しいただいたんですが。</p> <p>山口議員からご意見をいただいておりますので、事務局から報告をお願いします。</p>
<p>事務局 (藪主査)</p>	<p>本日もご欠席の山口議員から、本日の意見交換に当たって、ご意見を提出いただいております。お手元にお配りしておりますが、読み上げさせていただきたいと思います。</p> <p>本日は、堺市女性団体協議会の「女性体育祭」という大きな行事の主催者であるため意見交換会に出席できないことを、お詫び申し上げます。堺区区民評議会の皆様におかれましては、堺区の持続可能な発展や区民の思いを代表され、様々な案件をご審議いただいておりますこと、心より敬意を表し、感謝申し上げます。私は、このペーパーにおいて参加をさせていただきます。</p>

	<p>堺区は堺市の中心区であることから、やはり堺の玄関口としての空間創出や都市形成を行う必要があると考えます。そのためには少なくとも30年後の都市像をイメージして遡る空間デザイン、必要な施設、交通インフラなどを、社会構造を鑑みてビジョンを明確にする必要があると考えます。特に、旧堺港の復元や活用、ホテルの建設が困難な場合は、大型クルーザーの港への発着、空きビルを活用した宿泊システムの構築など、総合的なビジョンのもと、優先順位を決めて着手することが急がれます。私自身は、多くの市民の皆様方と、まちづくりについてワールド・カフェ方式で具体的なビジョンを持っています。</p> <p>世界遺産登録との関係性も含めて、ありきたりの都市開発でなく、たとえばベネチアのように、そこへ行けば、まったくオリジナリティのある都市景観がある、というようなまちづくりが望まれます。ですから、基本的に堺東などにペDESTリアンデッキなんていうのは、設置の仕方によっては、玄関口が死んでしまうように思います。</p> <p>高齢化が進む中、堺市の市民の皆さんが持っている、社会的資本、ソーシャル・キャピタルを有効活用することが大切ですね。</p> <p>区民評議会においても、多くの市民の方と、まちづくりについてのワールド・カフェ方式の機会を持たれることを提案します。</p> <p>前回の意見交換会の時も申し上げましたが、堺区は、日本初の取り組みである堺セーフシティ・プログラム、女性と子供に暴力のない安全安心なまちづくりのモデル区でもあります。市民生活のソフト面において、堺東の繁華街に性産業が目立ち始めていることも気になります。誰もが健全で安全な暮らしができるよう、ぜひこのプログラムにもご参加いただきたいです。</p>
岩田会長	<p>では、一通り議員の皆様からご意見をお願いしたところなんですけれども、評議会のほうの委員の方からもご発言をいただきたいなと思います。どなたかいかがでしょうか。</p>
間宮委員	<p>そうしたら実例でひとつご案内したいと思います。</p> <p>タイミングよく、この10月9日、町家をリノベーションして、宿泊施設とカフェオープンさせるんですけれども、もともと僕は設計のほうでつぼ市さんとかもやらせていただきながら、そういったものに興味をもって、この評議会にも臨ませていただいたんですけれども、先ほどの話の中で、こういった町家を利用していくというところで、実際には仕事になっていくんですけれども、たまたま大小路の北側の</p>

道筋に面したところに、30坪ぐらいの小さな町家があり、偶然そこがあいていました。半年ぐらいまでお住まいだったんですけども、かなり老朽化も進んでいて、設備的にも住めないというところで、空き放しになっていたんです。それを紹介していただくと、本当に家賃も安くお借りできて、このまま使ってもいいよということで、10年間お借りすることになりました。

そこをまずは宿泊施設として、これは民泊ではなくて、簡易宿泊所ということで、堺市のほうから消防も保健所もちゃんと許可をとりました。二つ小さな部屋なんですけれどもつくりました。つくりましたというか本当にその町家をそのまま生かしたものを二つつくっているんですね。その前にカフェをつくっています。こういう施設の場合は、受け付けが要りますので、そこに一人置くということで、カフェを併設しています。

こういったように、たまたまあったものを使って、僕自身が仕事でそういったことをやっていますので、やってみようということでつくりました。「SAKAINOMA」という名前にしているんですけども、考え方としては、空間と時間を楽しんでもらうという。要は堺に来たときに、何々を見るとか、何々を食べるとか、そういったものではなくて、堺に来ること自体が観光みたいなものにしていかないといけないのではないかなど。

そういった中で、今回は空間と時間と行間というものを入れたんですね。行間というのは、何かというと、なかなか見えてこないもの、ひとつの行と行の間にあるすき間ですけども、これってネットではなかなか見えてこないんですよ。実際に行ってみると、路地の横に何か小さなお地蔵さんがあったりとかいう、そういったなかなか見えてこないものを堺にきて見せていこうという、そういったコンセプトで堺のクリエイターに協力していただきながらつくったんですね。

カフェがありまして、その横にレジデンスということで、これは熊野町に属しますので、「熊」という名前で二つのレジデンスをつくりました。「錦」とありますが、これは僕の自宅なんですね。これも18年ぐらい前に建てたんですけども、子どもも東京に行っちゃって、僕らも市内に住んでいて、ずっとあいていたんですね。これも、もったいないなと思って、これも泊まる場所にしてみたんですね。

これからスタートしていくんですけども、こういった、本当に偶然なんですけれども、たまたまあいているところをこうやって活用して、堺の人たちがここで働いてもらって、ここを拠点にいろんなもの

がどんどん発展していったらいいのではないかなというところで今回つくらせていただいています。ちょっと実例みたいなものになってしまっているんですけども、また一度よかったら来ていただいたら詳しく説明させてもらおうんですけども。

今、全国的に地方再生と言われていますが、結局その住んでいる人たちが、そこで暮らしていけるようなシステムをつくっていかないといけないと思うんですね。これも空き家だったところをこういうカフェにすることによって、近所にいるちょっと料理の好きな若い子たちがここでやってもらったり、宿泊の管理をしてもったりという、地元で地元の雇用を呼んでいくと。

それも楽しんで地元のために働くみたいな、そういったものが最終的にまちを盛り上げていくんだと思うんですね。だから、すごくいろんな意味の相乗効果があると思います。

この町家も築60年なので、つぼ市さんみたいな、そんないい町家じゃないんですね。どちらかというと町家ですけども、本当に普通の民家なんですね。でも、瓦の屋根が残っていますし、土壁がありますので、そういった残されたものをうまく今の時代にちょっと変えていけば、どんどん活用していけるのではないかなと。こういったものは、全国行ってもなかなか少ないんですね。田舎に行けばいっぱいいろんな古いものは残っているんですけども、こういった都心の中でこういったものが残っているというのは、本当に数少ないと思います。

特には、関西、堺は、関空というものがありますので、ちょっとこういったものが何個かできていくと、すぐに着目されていくのではないかなと思います。今がチャンスだと思います。

どんどん古いものがつぶされていく、でもどんどん新しいもの、人が入ってくるという、この時代にこれをぱっとやることによって、できていくのではないかと。

これは多分5年後にやると、もう多分ほとんど町家がなくなってきているかもわからないですし、もうちょっと早かったらまた失敗しているかもわからないので、すごくいいタイミングだと思います。

評議会でも、こういうふうな議論をさせていただいているので、ぜひこういったことを、なかなか民間だけでは難しいところはありますが、まずは民間が仕掛けて、それを議会の方々が、役所の方々が逆にバックアップしていただくみたいな、そんなものがないかなと思っています。

またぜひよかったら、1回来ていただいたらご案内させていただきます

<p>岩田会長</p>	<p>たいと思います。</p> <p>ありがとうございます。私たちも京都にも行きましたし、ここにも見にいったりとかさせていただきまして、本当にやれるという実感を持ちましたということで非常によかったかなと思いますので、ぜひよろしかったらまた一度、足をお運びいただければと思います。</p> <p>私、ロゴがすてきだなと思って。「間」というロゴがゆがめてあるんですね。こういうロゴづくりとか、キーワードとか、最初にインパクトのあるものを何かぱっと発信するというのが大事なかなというような話も出ていました。</p> <p>では、他の方をお願いします。</p>
<p>川上委員</p>	<p>今日は貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>議員の皆さんのご意見をお聞きしまして、私たちが考えてきたことが、そんなにずれていないというか、間違いないんだという自信も出てきました。</p> <p>それぞれのところなんですけれども、まず湧上議員、住民意識のさらなる向上、これも我々の中では話をしておりました。私たちがガイドで回っていても、じゃまだという人が、まだ市民の中にいるという事態そのものが、まだまだまちに誇りをもっていない、理解していないなというように感じます。</p> <p>それを見たお客さんは二度と堺には来ないということになってしまうんだと思います。その逆の方もおられます。「川上さんは、あの人と何か知り合いですか」というほど、観光で来られた方に挨拶をする方もおられるので、両方あると思います。</p> <p>それと、町家というのは個々じゃなくて、角から角まで、一つの区域として考えることが必要だと思います。まちのある一つの部分を取り上げて、お寺も含みまして、連として考えるということも考えています。</p> <p>補助制度の件は、実際にその補助制度を使ってやった方ともお話をしました。完成してきれいになりましたが、自分が出すという部分がなかなか決心がつかない。やりたいのは自分だけで、家族も子どもも誰も賛成しない。そんな意見を聞きました。だから住みにくいんだと思います。そこで、大毛議員が言われた、予算を10倍にしたらいんじゃないかと。それはそうですね、100年もかかっておったら何も見られないから私もおもしろくないですね。何か進んだぞという部分を</p>

見るためにも、10倍にさせていただいたらいいかなと思います。国がやっていることと同じことをやっても堺は伸びないという、そういう感覚だと思います。

上村議員の町家のポテンシャルはあるが、所有者には年寄りが多い。これもそのとおりです。この役所の前の金露の酒屋さんがどうなったか。お話ししましたが、どうなったかはまだその結果はわかりません。この町家地域からぽんと外れていますけれども、非常に貴重な建物だと思うので、あれば何かできたらいいかなと思います。

それと、規制緩和の話が出ましたね。パーキングをつくるというのは、道路に線を引いて有料にするということですよ、考えられるのはね。そうじゃないとみんながとめ出したら駐車道路には便利な道なので、そうになってしまうんじゃないかと思いますので、それはいいなと思いましたね、予算もあんまり要らないかもしれない。

それと、もう一回行きたいところの話が出ました。そのときに実例でまちの名前を言われました。5つぐらい言われました。そのまち全部、川と堀と湖と温泉。これ全て水なんですよ、水に絡んでいます。そういうことだと思うんですよ。

水に絡むとなりますと、堺は温泉があるのかなのか、何々温泉ってありますけれども、そんなに著名な温泉ではないということ。また、非常に雨も少ない地域ですよ、堺区って。でも環濠の掘りがまだ一部残っているんですよ。でも、あの環濠の感覚が、まちの中を歩いていても、観光バスが走ってもほとんどないんですね。

あれが真ん中に入ってきたら、一遍に町は変わると思います。水があつたら必ず人が集まりますね、人が集まったらまちが元気になるという、そういうスパイラルに持っていくために、環濠の再生までいかななくては。元のおりにしなくていいですから、そういう地域がひとつある。その町家から一本ターンと環濠があるだけ。水があるだけで変わると思います。

そうすると誇れる地域になる。まさしくこれです。先ほど最初のほうに言いましたが、住んでいる人が誇りをもてなければ、そのまちは発展しないと思いますので、少なくとも歴史的なことに對して、ほこりが持てるような活動を我々しております。

堺のまちは歴史的な訴えは何ぼでもできる。でもビジュアルでぱっと見てわかるようなものが何もない。それがまさしく欠点。そのためにこの町家、この1坪、面が必要だということになるんじゃないかと思っています。

	<p>次に、西村議員の外国人の話ですけれども、外国人ってどれぐらいいるんやろうといったら、5%ぐらいかなということですが、ものすごく伸びて5%になっているから、こんな勢いでインバウンド、インバウンドというんですけれども、仮にその人たちがもっとふえて、日本の人が堺に来なくなったら何もならんということで、そのあたりも考えていかないといけないと思います。現実、海外の人がどこを回るのかというのは、うちのデータでは古墳と日本庭園と伝統産業なんです。これは間違いなくこの3つですよ。となると、なんか古いものが好きなのかなということは見えます。そういう点でもこの町家というそういう地域が大事なのかなと思います。</p> <p>防災拠点の件は、私もあそこは観光でも行っているんです。今言ったように岸壁あります。立派なものがあるけれども。クルーズというのは飛鳥とかということですね。あれは入れないんやなというのはそのとき思いました。でも、新宮なんて入れるようにして、入っていますよね。しょっちゅうああいう大型船が入っている。それが、もしも堺に入れば、イオンも喜ぶやろうし。そういういろんな活性化ができるんじゃないかと思います。</p> <p>ちょっと皆さんが言われたことをさっとそのままお答えするようになりましてけれども、もう時間を越していますので、私はそれぐらいです。</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。他にご意見がございますか。佐野委員、いかがでしょうか。</p>
佐野委員	<p>今、議員の皆様の話をお伺いさせていただいて、まず思ったのが、もう一度行きたいまちに堺をしなければいけないということなんですけれども、もう一度行きたいと思うものがないというのは、すごく致命的だと思ったりするんです。</p> <p>具体的には、この間、石川県の珠洲のトライアスロンに知り合いが行ったんですけれども、もうそこのトライアスロンというのが一大イベントに珠洲市ではなっています。</p> <p>何がいいのかといったら、走っていたり、自転車に乗っていたりしていても、周りの住民の人たちが沿道で頑張れって声をかけていただけたとかいうことがあるんです。そういうのがすごく励みになったというのもあったりするんですけれども。</p> <p>堺でもツアー・オブ・ジャパンがあるんですけれども、それって住</p>

	<p>民参加がすごく少ないような気がするんです。沿道で見ている方もすごく少ないですし、参加する選手の方たちが練習している風景とかというのもフェイスブックとかで上げているんですけども、堺の景観を写しているものがほとんどないんですね。選手たちだけ写しているという、仁徳陵古墳の写っているものというのもほとんどなかったりするんで、そういうのを広く写して、すごく誇れる堺ってすごくよかったよというところを選手の人たちとかにも言っていただける魅力あるまちというのに、堺もしていけたらいいと思います。</p> <p>あと、すごく批判になってしまいますが、行政って発信が遅いような気がするんですね。今度、堺まつりがあるんですけども、堺まつりのホームページを見ても何があるのかというのが、書いていなかったりするんです。もう 10 月に入っているんですけども。でも、堺まつりのときに、海上自衛隊の船が堺港のところに行きますよというのが、海上自衛隊のホームページのほうで 9 月には載っていたりとかしていたので、それが堺まつりのホームページとか堺のホームページになかったんで、そういうのもすごく残念なところだなということがありました。大道筋のこととかもあるんですけども、そういうふうに民間と行政がすごく協力的になったら、堺区というのもすごく盛り上がっていくと思うので、協力して活用していけたらいいなとは思っています。</p>
岩田会長	<p>はい、ありがとうございます。いつも広報のあり方をおっしゃっていただいております。他にいかがでしょうか。いつもと様子が違いますけれども。</p>
湯川委員	<p>町家の保全とか活用ということで話が進んでいるんですけども、これから 10 年後、20 年後の社会を見たときに、今後どうしても人口減少社会を迎える。この前も NHK で特番を組まれていたみたいなことが起こってくるというのも、長い目を見たときにそういうまちになっていき、東京でも 2020 年以降はどうしても人口が減ってしまうという中で、すごく危機感をもってまちづくりとかこれからの地域づくりというのをしていけないといけないんじゃないかなというふうに思っています。</p> <p>その中で堺区ももちろん人口も減っていくでしょうし、高齢化も進んでいくでしょうし、特に高齢者の単身世帯がすごく多いんじゃないかなと思っています。便利なところもあるので、そのあたりで何か町</p>

	<p>家とかそういったことも絡めながら、堺区の優先順位というのをどこに持っていくのかなというのは、すごく関心があるというか。</p> <p>住んでもらう人、その住んでもらう人も高齢者だけがふえてしまっ ては地域としては大変かなと思うので、例えば、子育て世代であつたりとかそういった世代とかを、どうここに住んでもらうようにするのかであつたりとか、税金をふやすためにとりあえずそういう観光客に来てもらうまちにするのかとか。町家とかの保全とか活用のあり方を考える上で、今後の戦略を兼ねて、これはどうしていくのかという、各論的なことが必要なのかなというふうに思っていて、そのあたりをどう考えていращやるのかなというのは、ちょっと興味をもちながら、それも含めながら各論というのも考えていかないといけないんじゃないかなと。</p> <p>予算の配分であつたりというのも、どこに対してお金をかけるのかというところにもかかってくるのかなというふうに思っているので、そのあたりも、もし機会があればお伺いしたいなというのは思っていました。</p>
岩田会長	<p>今、特にお伺いしたほうがいいですか、それともまた次の機会。 では、あまり時間がないですので、少し言いつ放しになるかもしれませんが、ちょっとお含みおきください。</p>
西村議員	<p>委員さんにお聞きしていいですか。矢本さんにお聞きしたいんですけど。</p> <p>中瓦町の再開発がこういうことになって、それはそれで僕は、市長は市長の考え方でそれでいいと思うんです。ただ、我々が今議論になっているのは、L R Tも含めてやけれども、この堺東駅前商店街をあ あいう形の開発にしよう、それは30年近くかかって議論をやったわけね。結果的に市長がかわったからこうなる、市長がかわって市長の考えやから、それは悪いと私は思わない。</p> <p>だけれども、その後、これがだめやったら。こっちのほうがいいからこれはだめやというのが筋違うかと。それを私は本会議でも常に言っている。だけど今、東西鉄軌道、いわゆる「鉄軌道」という言葉は外してもいいんですけど、交通、そして中瓦町の開発が、はっきりいって一切動いていないんやね、この7年間。</p> <p>今現在、矢本さんらがそこでいろんなことをやっておられるから、今どんな状態ですか、地元の考えとしては。</p>

<p>矢本委員</p>	<p>私的なところなんですけれども、やはり中心市街地として、堺市は84万人の政令指定都市としての玄関口として、今のままではいけないという課題意識を持っているというのは間違いなくて。</p> <p>ちょうど今やっているところなんですけれども、内閣総理大臣から認定されている中心市街地ですよ、中心市街地活性化法にのっとり。そちらのほうでも、ちょうど今回基本計画の変更ということで整備という言葉も入れていっているんです。全体というところではないんですけれども、堺市のほうからも協力していただいて、粛々と進めているところではあるんですね。</p> <p>こういったこともそうなんですけれども、私の場合、今思っているのは、いかにまわりも含めて巻き込んでいくかと思っているんです。</p> <p>どうしても今の見えている施策というのが点々にしか見えないんですね。利晶の柱をつくりました、では、今度文芸ホールをつくります、広場をやります、どうしても線にもならないし面にもなっていない。</p> <p>なかなか地域も巻き込めていないという状況が強いと思うので、こういった大道筋とか町家にしてもそうですけれども、いかにもうちょっとまわりを巻き込んで、大きくしていくかということが大事だと思っているので、ちょうどいろいろやっているとおっしゃっていただいたんですけれども、そういうのも含めて。</p> <p>あれも実はイベントをやるのが目的ではなくて、コミュニティづくりをテーマにしていまして、いろんな人が参画してもらえるような輪が広がっていくような、ネットワークが広がっていくようなことをやっているところなので、うまくその中で施策がのったときに、そこで一気にそこに乗っかっていけるような体制をつくっていきたいと思っています。</p> <p>そのあたりでは、今団結できていると思うので、あとはどこに向けていくかということだと思うんですけれども。</p>
<p>西村議員</p>	<p>中瓦町の開発でも、当然行政も含めて30年近くかかっておったわけやね。それはそれで、結局それが没になったわけやけれども、今言われる堺のいわゆる玄関口なんやけど、恐らく委員の人も矢本さんは知ってはると思うけど、あそこの中に戦前戦後の公衆トイレが2カ所あるんですよ。</p> <p>いわゆる路地にずっと入ったところに公衆トイレがあるんですよ。今は水洗にはしていますけどね。一応公衆トイレやから、夜中でも入</p>

	<p>ろうと思ったら入れるんやけども、あそこは気持ち悪くて入れられないわね。それがこの駅前に2つある。だけど、そんな今戦前の公衆トイレがそのまちの政令指定都市のど真ん中、玄関口にあるというようなことは考えられない。</p>
岩田会長	<p>それもちょっと逆手にとって活用するということもあるかもわからないですね。</p>
西村議員	<p>女性の方はよう入らんわ。そういう状況の、通路がこれぐらい、1メートルもないような通路をずっと奥に入って行って。</p>
湊上議員	<p>飲み屋街のところですか。立ち飲み屋のとかある。</p>
西村議員	<p>前はオープンやったけど、今はちょっと何かで隠して。当然男女一緒ですよ、入り口一緒、中も一緒。そういうようなものが現実にまだ、堂々と堺の玄関口に残っているっていうことなんですよ。</p> <p>あんまり、ほとんど知らないと思いますよ、皆さん。</p>
大毛議員	<p>交通の便が悪いから、ここに来るのが不便なのかどうかですよ。そこに行かなければならない理由があるから来るんです。少々交通の便が悪くてもそこでしか体験できない、また買い物ができない、そこでしか味わうことができないものがあつたら、堺に人は来ると思う。</p> <p>そういうものにしていくために、どうあるべきかということ議論していかないと。LRTが走っていないから来ないんだと、むやみやたらにLRTを走らせたならそれで人がたくさん来るとい、何もないのに来るはずはない。</p> <p>今と一緒にいたら来ない。ガシバルをやってくれたり、堺東は頑張ってくれているから、そういうことでだんだん脚光を浴びてくる。そうしたらそこに行ったら、そこでしかできないものが生まれてくたら、人は黙っていても来るんです。</p> <p>だから今日、僕、物すごく興味があつて、「SAKAINOMA」ね。これは絶対早く見にいこうかなと思つてはいますけれども。だから、こういうものが、そこに行ったら見れる。堺東に何があるんですかといったときに、堺東でしか食べられないものとか、そこでしか買えないものとか、そういうものがたくさん来たら、黙っていても交通の便が少々悪くても来るんです。</p>

	<p>それは、交通の便がよかったらいいよ、L R Tを走らせることが本当に堺の活性化につながるのかどうかということは、議論をしながらやっていかないと思う。</p> <p>そういうことも考えながら、堺東が我々の玄関口であるというのであれば、堺市も投資をしてこの政令都市 84 万人にふさわしいものになっていくために、どうするべきか。今言われたようにつながっていくという。今、利晶の杜もできた、芸術文化ホールも新しくできる。町家もまた活性化してきたというようなことになってきたら盛り上げていくと思いますので、そういう盛り上がりをつくるために評議会が僕はあると思っていますので、ぜひとも建設的な意見を、そして我々市議会として市長にしっかりと予算をつける、こういうことはまたタイアップしながらやっていくということが我々と区民評議会との関係だと思っていますので、どうかよろしくお願ひしたいなと思います。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>ありがとうございます。本当に、確かにもう既にいろんなことが動いてきているチャンスだと思います。はい、いかがでしょうか。</p>
<p>瀧上議員</p>	<p>ちょっと幾つか皆さんのご意見を踏まえて私も意見を。</p> <p>佐野委員のおっしゃった情報発信はまさに私も行政の欠点だと思っていて、今、堺区のイベントカレンダーを今見たんです。堺まつりが載っていません。これはぜひ当局の改善をしっかりと意識をもっていたきたいなというふうに思います。</p> <p>あと、私も外国人の人が来てくれたらいいなと思うんですけども、観光戦略でありながら、まちづくりをする上で、あんまり堺って外国人をそんなに意識せんでいいなと。ましてやSNSで個人が情報発信できる時代なので、あんまりど派手なものをつくって外国人をみたい感じよりも、自分のまちのことを好きな市民をいかにふやすかが大事だと思っています。</p> <p>よそに観光に行くときって、ディズニーランドがあるからとか、そういうのももちろんあるんですけども、そのまちのことを自慢しているお友だちがいるということで、既にそのまちに行く理由にも十分なりますし、リピーターになる理由というのは、例えばまち全体がどうかしなくても、本当に心地よい空間が少しあって、そしてそこでちゃんとしたおもてなしがあれば、また行きたくなると思うんですよ。</p> <p>そういう市民の意識調整って、もっと力を入れてほしいと思いますし、まず一刻も早く市民がそのまちを好きになる上で、例えば私はさ</p>

	<p>つき湯川委員がおっしゃった転入してくる人がというのがありましたけれども、私も転入してこられた方が堺区の窓口で転入届を出す、ごみはこうやなどの一定の情報ももらいますけれども、例えばそこで、堺区はこんなまちですよというような話があったりとか、あるいはですけれども、観光ボランティアの人の1日案内券がもらえたりとか、堺のサービスとして。</p> <p>堺市全体に毎年2万人以上の方が転入してこられます。そういう方々が一日も早く堺を好きになるような取組を堺が出してあげれば、市民じゅう堺が大好きになって、すぐSNSとかでばんばん発信してまた来てもらえると、そういうまちになると思います。</p> <p>あと、もうひとつは情報発信する上で、完璧な写真、こんなすてきな景色があるんだという写真が何枚もあるというのは大事で、例えば条件つき住宅の写真なんかがありますけれども、地面はアスファルトだったり、電柱が見えたりしているわけで、角から角まで町家というのがありましたけれども、それに付随するような路面の美装だとか、無電柱化とか、そういう取り組みを私は議会で進めたいなというふうに思っています。</p>
岩田会長	ありがとうございます。
事務局 (副区長)	<p>今転入者とか、まちに来られた人に区のこんなところがありますよ、あんなところがありますよという部分なんですけれども、堺区でガイドマップをつくっております。</p> <p>今回つくったものにつきましては、堺区の職員が、研修の一環として集まって、子育て、高齢者の施策、防災に関して、若手の職員からいろんな意見、いろんな施策を意見いただいてパンフレットをつくったものがございます。</p> <p>転入された人にはぜひこんなですよというようにお話しさせていただきます。</p>
淵上議員	袋ごとじゃ意味ないでしょ。一言添えて渡していただいているんですか。
事務局 (副区長)	そうです、1冊の冊子になっておりますので。あとでまたごらんいただきたいと思います。すごくよくできているかなと自負しておりますが。また見ていただければと思います。

大毛議員	<p>そんなんつくったら早く配らなあかんも。こんないものつくりましたって、若手が頑張ってくれましたって。我々のアイデアではございません、若手のアイデアですって言うたら喜んで見るのに。</p>
事務局 (副区長)	<p>なるほど、ありがとうございます。</p>
岩田会長	<p>そういういいことをいっぱいやっているんですけども、ちょっと広報が。</p>
湊上議員	<p>情報発信が。</p>
事務局 (副区長)	<p>情報発信のほうは、十分気をつけてやっていきたいと思います。</p>
湊上議員	<p>あともう一個だけ。上村議員が行政の仕事として規制緩和っておっしゃって、私もそれはあるなと思うんです。逆に一方で、規制をかけることも仕事でして、例えば、鉄砲鍛冶屋敷のそばに、特定したらいやらしいんですけども、物すごく新しい洋風な家とかが建っているんですよ、こういうのも、一定ここは景観保全地域とかで、古墳陵の近くとか規制をかけはってきているんですけども、北部地区とかもそういうことを考えないと、僕はあかんと思うし、その中で住民の利便性も損なわれるわけですから、規制をかけると。</p> <p>その辺は市民の皆さんの活発な意見で、こういうことなら対応できるとか、そういう環境づくりも大事だなと私は思っております。</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。そのあたりも早くしていくことが必要だと感じます。他にございますか。はい、どうぞ。</p>
間宮委員	<p>先ほどの「SAKAINOMA」の説明させてもらったんですけども、これは最終的には「SAKAINOMA」というサイトを立ち上げようと思っているんですね。情報発信ということでやっているんですけども、結局堺の情報を見ようと思ったときに、全部ばらばらなんですよ。</p> <p>堺市のホームページを見ても堺の情報が入ってこないし、工芸のやつは工芸だけのものしかないと。それをひとつの堺の目線で集めてい</p>

	<p>こうも思っていて、こういうというサイトがありますので、皆さんがそこに全部入ってきてくれるわけです。例えばそこで何か物をつくっている人たちはそのサイトに上げると情報に入ってくると。それで何かおもしろいものがそこに入ってくると。</p> <p>そうすると、海外から日本全国から堺に行くときに、「堺」と検索したら「SAKAINOMA」というのがぱっと出てくると。そこに堺のおもしろい情報がぱっと集まっているという、それがリアルタイムにこういったカフェとか宿泊施設が併設されているという、そういったちょっとここに書いているんですけどね。</p> <p>今そういう時代なんですね。この議論をやっている、皆さんばらばらに、ばらばらのことを言っている、なかなかこれが社会というか情報として発信していけないんですね。そういうことをまとめていかないといけないんですけども、行政がそれをまとめると、いろんなことが絡んでくるのでまとまらない。でも、民間のひとつのサイトがあって、これがおもしろいわけですね。いろんな情報が集まってくるから。それがまたどんどん集まってくるみたいな、そういったものを僕はやろうと思って、この「SAKAINOMA」というサイトにしたんですけどね。</p> <p>ちょっとなかなかまだ理解してもらえないかも知れないですけども、そういったことをやっていきたいなと。とりあえず堺に行ったら、堺に行くんだったら「SAKAINOMA」を見たら、リアルタイムにおもしろいことがいっぱい出てくるよということができたらおもしろいかなと思って。今から考えているところなんですけどね。</p>
岩田会長	<p>みずから情報発信をしてくださって、取り組んでくださっているということですね。</p>
信田委員	<p>堺のいいところを保全して、活用していくと。活用するときには創造、何かつくり上げていくことが必要があるかなと思っています。いろいろご意見をいただいて、外国人にもアピールできるようなものとか、もっと住んでいる方に優しいまちであるとか、そういうふうな、創造することが大事かなと思っていますんですけども、堺市は他市に比べて、各校区福祉委員会を私たちはしているんですけども、活動がかなりきめ細かく活発にされています。</p> <p>よそなんかでモデル的なところはあっても、それが全市に広がっているというのはなかなか少ないんですけども、堺は全般的にかなり</p>

	<p>広がっているという。</p> <p>そういうふうな、それぞれの人が住民意識をもってされているところなので、いろんなことを発信するにしても、なんにするにしても行政からの、上からのお達しじゃなくて、住民サイドに立って、住民を主役にした意見とか、そういうのが生かされるようなものであってほしいなと思います。</p> <p>何でもかんでも、いいことやからって、上からぼんとしてしまうと、それが広がらないで、あそこだけではいいこととしてはるけれども、他の住民の人は知らなかったとか、そういうことがよくあるんですけれども、それを住民に戻していろいろと一緒に考えていくような、そういうスタンスでやっていきたいなと私は思っております。</p>
岩田会長	<p>わかりました、ありがとうございます。同じような立場じゃないかなと思います。</p>
桂委員	<p>話がころっと変わってもよろしいですか。</p> <p>ずっと区民評議会でも議論させていただいて、ずっとイメージが出てしゃべっているわけじゃないんです。全然出てこないんです。今日、お聞きした成山議員のサクラを植えてということなら、イメージしてずっと膨らんでいって、ああそうかというふうな。西村議員が言われたように、大型豪華観光船が入ればどうなるかというイメージ。</p> <p>なんかイメージの沸くような議論というのは、頭の中で余り浮かばへんなと思って。</p>
岩田会長	<p>多分それを言葉にするのって、なかなか難しいですよ。</p>
桂委員	<p>そう、難しいので。しゃべることはイメージがあって、しゃべるんですけどね。今言われているように観光資源として、点々でずっと結ばれてくる必要があるのではないかと。</p>
岩田会長	<p>今いろいろ、お互いに意見交換という形もできたのかなと思います。</p> <p>今、これをお配りいただいたのが、さっきの話題に出てましたガイドブックですね。</p>
事務局 (副区長)	<p>議論の途中で配らせていただいたんですが、これが堺区のほうで作成させていただきました。堺区の職員が研修の一環というところで、</p>

	<p>区がやっている取り組み内容、堺区における観光名所など載せさせていただきます。</p> <p>それと、一番最後に大きな地図がついているんですが、観光のガイドマップとその裏には防災の、もし何かあったときにはここに避難しましょうねといった形で、防災拠点を載せさせていただきます、区分けしてやっているという状況ですので、見る方からは見やすいということで、ご意見をいただいたりとか、そういった内容でございます。</p> <p>ぜひともまた、ご活用いただければありがたいと思います。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>ご存じでしたか、ああ、そうですか。今見まして、本当にすごく見やすいし、活用しやすいなと思うし、これは旅行者なんかには差し上げることはできるんですか。</p>
<p>事務局 (副区長)</p>	<p>旅行者にもお渡しは。数にも限りがありますので。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>旅行先でこんながあるとすごい便利だなって。</p>
<p>事務局 (副区長)</p>	<p>そうですね、PRもかねてまた検討していきたいと思います。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>いろいろご意見いただきまして、意見交換もできてきたのかと思うんですが、ちょっと私、1個だけ私のほうからまちづくりに関しまして、一言発言させていただきます。</p> <p>昨年から大道筋の話が私たちの中では非常に議論のメインに置かれていたところがあったんですけども、先ほども議員の方からもおっしゃっていただきましたけれども、今、堺市にインバウンドで外国人が来られるということであれば、どういう方が来られているか。</p> <p>なかなか堺市で遊んでくださる方がいないということなんですけれども、大阪でホテルをとるとというのが今すごく難しく、USJの関係もあつたりとかすると思うんですけども、空港との間でも便利だしということで、そういう方がちょっと離れた堺で宿泊客が多いのかなと思うんですけども。</p> <p>そうすると、宿泊客が夜遊べるところがあるといいんじゃないのという、そういうところも大事かなと思っていまして、大道筋の夜の景観調査みたいなのを進めていこうかなと思てやらせていただいている</p>

	<p>ところなんです。ね。</p> <p>ある意味、夜遊び施策みたいなのも一方で大事なのかなと思いますので、そういったこともつけ加えて提案できたらなというふうに思っています。</p> <p>それから、全体的な立場なんですけれども、取り組み案ということで、具体的な案をなかなか文書化できないものについては、ここに表現し切れていなくて、先ほどの桂委員の話にもありましたように、イメージがちょっとその場では沸くんですけれども、なかなかそれがすぐさっと消えてしまうみたいなこともあろうかと思うんですが、もう一度今日お話しお伺いしましたことについて、整理させていただいて、さらにここに幾つかつけ加えなければいけないなということもいただいたので、考えてまいりたいと思います。</p> <p>それから、取り組み案は、ずっと点々で羅列していますけれども、優先順位というか、時間的な課題の啓示的な設定の仕方があると思いますので、その点についても、これから考えていかなければいけないなというふうに思いましたので、ちょっとそのことについても評議会のほうで検討させていただきたいなというふうに思います。</p> <p>それから、行政のほうのお立場でいろんなことの取り組みをされているんですけれども、確かに予算のことについては、いつも「ちょっとそれは」とかって言われることが多いですので、議員の方と一緒にやってというかお願いをしながら予算の強弱のつけ方というんですかね、その辺の優先順位なんかも考えてやっていけるといいなというふうに思っております。</p> <p>あと何かございますか。よろしいでしょうか。</p>
淵上議員	早朝の町並みについてもちょっと。
岩田会長	早朝ですか。
淵上議員	同じ視点で。泊まりに来る人だけ。夜と早朝なので。早朝の古墳とかはすばらしいと。神秘的で。
岩田会長	そうですね。早朝は旅行先で散歩するという方も結構いますよね。
淵上議員	それもぜひ、大道筋でモーニングをして。

岩田会長	<p>そうですね、わかりました。そういうこともじゃあ入れましょうか。 ありがとうございます。お時間窮屈な中で、今日はいろいろご意見 いただきまして、本当にありがとうございます。</p>
事務局 (区長)	<p>堺区選出の市議会議員の皆さま、そして区民評議会委員の皆さまに おかれましては、貴重な時間をいただきまして、よい意見交換ができ たと思います。</p> <p>事務局、そして区民評議会の皆さんと一緒に、皆さんの意見 をいただいて考えてきたことが先生方の考えていただいていることと 多くのことが共有できたと思います。</p> <p>今すぐできること、広報のこととか情報発信のことについてはすぐ にでも着手したいと思っております。そしてまた、他局の力を借りて 進めていくところ、そういうところは区局連携でまちなみの再生の予 算のこととか大道筋の道幅のことであるとか、他の活用の仕方である とか、そういったところは区局連携で我々も今の意見を情報交換して 考えていきたいと思っております。</p> <p>そしてまた、一番大事だと思うんですけども、なかなか意見がま とまりにくいところについては、対話ということが重要だということ を学びましたので、そういう意見交換の広場みたいな、区民評議会の ほうからも、そういうのをつくってはどうかということを提案いただ いて、地域の皆さん、それから内外の関係の方々、そういった人が一 斉に集まって議論できる場を、第1回に向けて準備会議を2回ほど進 めてきております。</p> <p>秋から本格的にスタートしたいと思っておりますので、またいろいろご意 見をいただいたり、応援のほうよろしく願いいたします。</p> <p>本当に今日はありがとうございました。</p> <p>3 閉会</p>
岩田会長	<p>ありがとうございました。最後に区長にお話しいただきました。以 上をもちまして、堺区選出市議会議員との意見交換会を終了したいと 思います。 本日はどうもありがとうございました。</p>